

# 施政方針の概要

## 市政運営の基本姿勢と重点施策

### 安心・支え合い最優先

市民の安全・安心の確保と、地域での支え合いを醸成していく取り組みを進める。

1. 高齢者のごみ出し応援モデル事業 【予算額 411 千円】  
日々のごみ出しに困っている高齢者を支援していただける自治会やこども会に報償金を交付するモデル事業を実施、地域のつながりを保ち、安心の暮らしを守る。
2. ワクチン3種(子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌)への助成 【予算額 159,545 千円】  
子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種費用の一部を助成(接種を受ける方の自己負担は約4分の1)。
3. 市立病院における医療の充実と赤字の圧縮 【予算額 248,183 千円】  
高度な手術や検査に対応するため、顕微鏡手術装置や超音波診断装置等の医療機器を整備。病院の職員定数を増やし、産婦人科医をはじめとした医師、看護師、技師等の確保により、医療水準の向上を図る。収益向上と経費削減策の推進により、さらに約2.6億円の赤字を圧縮(当初予算比)。認定看護師資格取得を促進するための教育課程の受講費用について一定額を貸し付け。
4. 新・松寿荘/新・永寿園 複合施設の新設 【予算額 100 千円】  
老人福祉センター「松寿荘」を移転し、養護老人ホーム「永寿園」や子育て支援センターを併設した複合施設の新設に着手。新年度は建設・運営を担う社会福祉法人の募集・選定を実施。
5. 北部地域の消防連携・豊能町と拠点整備に着手 【予算額 21,092 千円】  
北部(止々呂美・箕面森町)地域への迅速かつ機動的な火災・救急出動のため、豊能町との広域連携を進める。新年度は、新たな拠点となる豊能町消防本部(署)庁舎の共同建替に着手(実施設計)。
6. 消防車両のリニューアル 【予算額 70,926 千円】  
救急車(災害対応特殊救急自動車)1台、消防車(非常備消防ポンプ自動車)2台をリニューアル。

### 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 保育所2所のオープン・彩都保育所の新設 【予算額 305,238 千円】  
「待機児童ゼロプラン」に基づき、平成23年4月に保育所2所をオープン。また、平成24年度オープンをめざして彩都地区に保育所を新設。
2. 子育て支援の新展開(子育ての選択肢の拡充)

#### 私立幼稚園での保育の充実 【予算額 343,679 千円】

府内トップの私立幼稚園児保護者補助金をさらに拡大し、「子育て応援幼稚園保護者補助金」に再編。長時間保育を実施する私立幼稚園に通う園児の保護者への補助金を上乘せし、対象も3歳児まで拡大。長時間保育を促進するため私立幼稚園への補助金を拡充。支援教育を進める私立幼稚園に対して、補助金の交付と、市の専門スタッフの派遣によりサポート。

#### 一時保育施設の拡充 【予算額 20,403 千円】

一時保育を実施する保育所を3カ所から5カ所に増設。

#### 子育て支援センターの全市展開・出張子育てひろばの実施 【予算額 2,211 千円】

現在2カ所の子育て支援センターについて、全8カ所への拡大(中学校区に1カ所)をめざす。新年度は、子育て支援センターを展開予定の中学校区において、「出張子育てひろば」を実施するとともに、子育て支援ボランティアを養成。「新・松寿荘/新・永寿園」に併設する子育て支援センターのオープンに向けた準備に着手。

#### 私立幼稚園の保護者補助金の支給の早期化・回数増 【予算額 17,883 千円】

私立幼稚園保護者補助金の再編とあわせて、支給時期の早期化、支給回数的大幅増を実現(現在は年度の後半に2回だけ 平成24年度からほぼ毎月支給へ)。

3. 大阪で2校目の小中一貫校「彩都の丘学園」を開校 【予算額 2,182,215 千円】  
本市で2校目、大阪府内の公立小中学校でも2校目の小中一貫校(施設一体型)である「彩都の丘学園」を4月に開校し、「関西における学力のフラッグシップ校」をめざす。
4. 全小学校の有人警備を継続 【予算額 26,902 千円】  
大阪府の交付金廃止後も、小学校の有人警備を市の単独負担で継続。さらに地域や保育所・幼稚園の巡回警備も実施し、子どもたちの安全で安心な環境を守る。

### 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 有害鳥獣による農業被害の防止、朝市の充実 【予算額 36,292 千円】  
猪・鹿・アライグマなどによる農業被害を防止するため、追い払いを強化しながら、隠れ場所となる放置果樹や雑木の撤去などを実施、効果的な防止策を検証。農業収益を拡大するとともに、地産地消の拠点として消費者からも人気の「朝市」をさらに活性化するため、「箕面中央朝市 in かやの広場」の人員体制を充実。
2. 止々呂美ふるさと自然館・オートキャンプ場をオープン 【予算額 14,839 千円】  
大阪都心部から車で30分、箕面グリーンロードトンネルを抜けてすぐの絶好の立地に、国内トップのアウトドアブランド「スノーピーク」の運営(指定管理)による「止々呂美ふるさと自然館」(本館+オートキャンプ場)をオープン、集客の核として、北部(止々呂美・箕面森町)の地域振興策を展開する。
3. 箕面駅前・桜井駅前の活性化の促進 【予算額 245,392 千円】  
多くの観光客が訪れる箕面駅前～箕面大滝への滝道の再整備(平成24年春リニューアル完了予定)を進めるとともに、滝道での「川床(かわゆか)」の社会実験など、官民ノハード・ソフト一体の事業展開を推進。老朽化した箕面駅前駐車場・駐輪場についてPFI手法によるリニューアルの準備に着手。桜井駅周辺の再生・活性化に向けて、地元関係者等との協議調整を進める。
4. 小野原西・小野原東への公共施設の新設 【予算額 17,323 千円】  
小野原西の多文化交流センター、小野原東の多世代地域交流センターの新設に着手(実施設計)。
5. オレンジゆずるバスの実証運行の継続 【予算額 119,973 千円】  
昨年9月に稼働した「オレンジゆずるバス」の2年後の本格営業に向けて、路線等を検証・見直しを実施。より使いやすいバスをめざし、「乗れば乗るほど便利になるオレンジゆずるバス」のさらなる利用促進を図る。
6. 北大阪急行線の延伸 【予算額 122,826 千円】  
長期的な交通計画及び中・短期的な都市交通戦略を策定するとともに、整備主体の検討等、鉄道延伸に向けた具体的なスキームの確立を図る。鉄道延伸を視野に入れたまちづくりのグランドデザインを描くため、関係機関のトップクラスにより新たな協議会の立ち上げをめざす。早期着工を視野に入れ、「交通施設整備基金」にさらに1億円を積み増す(積立額が30億円超となる)。

## 市政運営を着実に実行するために

### 市役所改革・行政改革の断行

市役所が実行力と機動力を発揮し、子どもたちにツケを回さない行財政運営と、市民視点の使いやすい市役所をめざす。

1. 証明書の発行拠点の拡大 【予算額 18,394 千円】  
市役所で最も来庁者の多い証明発行窓口を、市内の図書館4館などに一挙拡大。住民票、印鑑登録証明書などの証明書について、土日も含めて発行サービスを提供。
2. コンビニ収納の拡大 【予算額 17,217 千円】  
昨年、コンビニ収納を導入した軽自動車税・国民健康保険料に続き、新年度からは市・府民税、固定資産税、都市計画税にもコンビニ収納を拡大、納税者の利便性向上と早期納付・滞納防止を図る。
3. みのおライフプラザ複合施設の維持管理委託業務の一括化 【予算額 330,899 千円】  
地理的に隣接している市立病院、総合保健福祉センター、医療保健センターの3施設の維持管理委託業務を一括化することにより、5年間で約2億7千万円の経費削減を実現。